

2018年1月16日  
古河電気工業株式会社

## 千葉事業所内で発生したガス漏洩に関するお知らせ（第2報）

2018年1月10日（水）12時35分頃、当社千葉事業所に所在する子会社古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社の工場内で発生したガスの漏洩状況につきまして、第2報としてお知らせします。ご関係の皆さまにはご迷惑をおかけし、改めて深くお詫び申し上げます。

1月16日（火）9時現在で判明しております状況を下記のとおり、お知らせします（下線部が主な更新内容）。

### 1. 発生場所

千葉県市原市八幡海岸通6番地

古河電気工業株式会社 千葉事業所内

古河ファイテルオプティカルデバイス株式会社内の光半導体製造工場

### 2. 事故の経過

事故発生当初の状況を下記の通り一部訂正すると共に、本日9時段階での最新情報を追加します。

1月10日（水）12時35分頃

光半導体製造工場クリーンルーム内の除害筒から黒煙を発見。有毒ガス漏れの可能性があったため、工場建屋内の従業員全員が退避した。有毒ガスを測定した結果、クリーンルーム外へ漏洩していることが確認されたため、連結する別の建屋からも従業員を全員避難させた。

1月10日（水）

（訂正前）15時10分頃、有毒ガスの漏洩が既に停止していることを確認した。

なお、現時点で光半導体製造工場および連結する建屋のガス濃度は環境基準以下となっている。

（訂正後）18時19分頃から、公設消防隊が室内に進入し、有毒ガスの濃度測定を実施。その後定期測定の指示を得た。なお、1月11日15時（前回発表）時点で、光半導体製造工場および連結する建屋のガス濃度は社内での作業環境基準以下となっている。

1月13日（土）16時15分頃、有毒ガス発生源と推測される装置を工場から搬出。処理業者にて適切に処理を完了した。引き続き有毒ガスの定期測定を継続し、異常値は観測されていない。

### 3. ガス漏洩の原因

千葉事業所内に設置した「対策本部」にて、原因調査中。

### 4. 被害状況（1月16日9時現在）

- (1) 人的被害；当社及び当社グループ従業員4名が、事故当日体調不良を訴え事業所内で休養し、体調は回復するも、産業医・保健師の判断により経過観察とした。  
その後、うち1名が1月12日（金）に病院で診察を実施したが、診断の結果、異常は見られなかった。また同日新たに、2名が事故当日に体調不良を感じその後回復していたとの報告がされたため、産業医の診察を実施し、経過観察とした。
- (2) 物的被害；光半導体工場クリーンルーム内の除害筒が一部破損（推定）
- (3) 現在の操業状況
- ① 光半導体用チップの製造を停止。隣接する施設の当社グループ従業員約400名は、別の建屋に避難した上、1月10日中に順次帰宅。
- ② 事業所敷地内のその他の工場は通常通り操業中。
- (4) 製造復旧の見通し；光半導体工場は1月末までを目処に順次、操業再開予定。

### 5. 原因と対策

既報の通り変更ありません。現在、関係ご当局の調査中であり、千葉事業所内に「対策本部」を設置し、原因調査等を全力で進めております。

原因が判明次第、関係ご当局のご指導を仰ぎつつ、適切な対策を実施します。

### 6. 発生漏洩した有毒ガスの内容

- ・ リン系ガス、ヒ素系ガス

除害筒で無害化した生成物が空気と化学反応し、リン系ガス（ホスフィン含む）とヒ素系ガス（アルシン含む）が発生したと推測される。

内容；InGaAsP（インジウムガリウムヒ素リン）などの光半導体を製造する際に用いる無機化合物。アルシン、ホスフィン共に半導体製造工程の原料ガスとして使用している。

以 上